

別記様式（第4条関係）

会議録

会議の名称	第50回宍粟市国民健康保険運営協議会	
開催日時	令和7年6月26日（木）午後2時00分～午後3時00分	
開催場所	宍粟市役所3階 庁議室	
議長（委員長・会長） 氏名	黒田 茂	
委員名	(出席者) 山國和志 中野典子 松元二三代 山田博史 井上雅博 高田易典 縣 俊孝 藤井正司 前田尚三 小西美穂 黒田 茂	(欠席者) 小原千種
事務局名	市民生活部部長 森本和人 市民生活部次長 朱山和成 市民課 副課長 小椋容子 市民課 副課長兼国保係長 中田昭圭 税務課 課長 小池信仁 税務課 副課長 原 弘幸 保健福祉課 課長 間村優子 保健福祉課 副課長 恵美康行	
傍聴人數	0人	
会議の公開・非公開の区分及び非公開の理由	公開	(非公開の理由)
決定事項	(議題) 協議事項 (1)令和6年度宍粟市国民健康保険事業特別会計決算（見込）について (2)令和7年度宍粟市国民健康保険事業特別会計予算について (3)国民健康保険税収納状況等について (4)特定健診・特定保健指導、がん検診、歯科健診について (5)令和6年度国民健康保険事業実績について (6)その他 宍粟市健康づくりポイント事業について	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料等	あり	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>(1. 開会) 開会あいさつ（略） 保険医代表の委員と公益代表の委員に交代がありましたので、新しい委員の紹介をさせていただきます。 歯科医師会会长の高田易典委員、連合自治会選出の藤井正司委員、同じく前田尚三委員です。</p>
副市長	<p>(2. 副市長あいさつ) 副市長あいさつ（略）</p>
事務局	<p>(3. 副会長選出) 副会長の選出でございますが、前任の西明寺委員は連合自治会選出の委員でございまして、自治会長の任期終了に伴い国保運営協議会委員の任期も終了となつたため、現在副会長が不在であるため実施をいたします。 宮粟市国民健康保険条例施行規則では、公益を代表する委員から全委員が選挙すると定められておりますが、今回委員が交代されたこともあり、この短期間の中で選挙することは容易でないため、公益を代表する委員の皆様と事務局で協議を行い、藤井委員を副会長に選出をさせていただきたいと思いますが、委員の皆様ご承認いただけますでしょうか。</p>
会長	<p>(4. 会長あいさつ) 会長あいさつ（略）</p> <p>《副市長退席》</p>
事務局	<p>本日の出席状況について、ご報告申し上げます。本日の出席委員数は、11名でございます。委員定数の2分の1以上の方に出席いただいておりますので、宮粟市国民健康保険条例施行規則第6条の規定により、この協議会が成立することを報告いたします。</p> <p>出席者紹介（略）</p>
議長	<p>(5. 議長選出) 議長につきましては、宮粟市国民健康保険条例施行規則第7条の規定によりまして、協議会の議長は、会長があたることになっておりますので、ここからの会議の進行は黒田会長にお願いします。よろしくお願いします。</p> <p>(6. 会議録署名委員選任) 会議録署名委員の選任につきましては、宮粟市国民健康保険条例施行規則第11条の規定によりまして、私の方から指名させていただきます。 それでは、本日の会議録署名委員は、松元二三代委員、井上雅博委員のお二</p>

発言者	議題・発言内容
事務局	<p>人を指名いたしますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>(7. 協議事項)</p> <p>(1) 令和6年度宍粟市国民健康保険事業特別会計決算（見込）について</p> <p>(2) 令和7年度宍粟市国民健康保険事業特別会計予算について</p> <p>(3) 国民健康保険税収納状況等について</p> <p>を議題といたします。事務局の説明を求めます。</p> <p>資料により説明《(1)(2)市民課、(3)税務課》</p>
議長	<p>事務局の説明が終わりましたので質疑に入ります。ご意見ご質問はございませんか。</p> <p>なければ、次の議題に入ります。</p> <p>(4) 特定健診・特定保健指導、がん検診、歯科健診について</p> <p>を議題といたします。事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>資料により説明《保健福祉課》</p>
議長	<p>事務局の説明が終わりましたので質疑に入ります。ご意見ご質問はございませんか。</p>
委員	<p>【質疑応答】</p> <p>1人当たり医療費が増加しており、高額薬剤（認知症治療薬など）の影響があると思われる。その要因分析をお願いしたい。</p>
事務局	<p>レセプトデータを分析し医療費が増加している要因を調査し皆さんに報告したい。</p>
委員	<p>医療費の抑制には病気の予防が大切。そのためには、被保険者自身の健康管理意識向上を含め、健康教育が重要と考える。</p>
事務局	<p>病気の予防（特定健診受診促進、生活習慣改善支援など）は重要であると認識しております、検討していきたい。</p>
議長	<p>他に意見はありませんか。</p> <p>なければ、次の議題に入ります。</p> <p>(5) 令和6年度国民健康保険事業実績について</p> <p>(6) その他</p> <p>を議題といたします。事務局の説明を求めます。</p>
事務局	<p>資料により説明《市民課》</p>
議長	<p>事務局の説明が終わりましたので質疑に入ります。ご意見ご質問はございませんか。</p>

発言者	議題・発言内容
委員	<p>せんか。</p> <p>【質疑応答】</p> <p>ジェネリック医薬品数量シェア率について。令和7年度目標の92%は高すぎるのでないか。</p>
事務局	<p>直近3月時点で90%台に到達しており、長期収載品の選定療養費も導入され、率が伸びてきているので期待を込めて設定した。(会議後資料確認 令和7年3月時点91.7%)</p>
委員	<p>健康づくりポイント事業について、どうやって取り組んだらよいのか教えてほしい。</p>
事務局	<p>基本的にはご自分で取り組んでいただいたことを、自分でポイントをつけていただることになる。「おうちで挑戦ポイント」は、例えば毎日ラジオ体操するとか、ストレッチをするとかを続けてやっていただく。1日1ポイントになる。</p>
委員	<p>私はオレンジカフェで認知症の方の話を聞くボランティアを長年しているが、認知症の薬に関する話題がとても多くて、関心の高さを感じている。</p>
委員	<p>確かにマスコミの影響もあり、関心が高い。認知症の新薬がどんどん出ている。ただ、新しく出た注射による治療は高額(約300万円)だし副作用もある。それに、使用対象もかなり軽度の人には限定される印象。</p> <p>薬の使用中止の基準がガイドラインに記載されていない点が問題。患者に必要かどうかの判断も難しく、家族の負担も非常に大きい。主治医と相談し、家族が判断してやめるということを考えられる。</p>
委員	<p>歯科では虫歯予防が進んでいて、昔は検診で虫歯のある子がほとんどだったが、今は1~2人ほど。そして、予防中心の治療に変わってきている。昔は削る治療ばかりだったが、今は検査とケアが中心。小児矯正も一般化している。</p>
委員	<p>私は後期高齢者になって思うのは、やはり「健康年齢」が大事だということ。筋肉が健康維持の鍵だと思う。筋肉と骨粗しょう症は関連がありますか。</p>
委員	<p>筋肉というよりも、重力。立つこと、噛むことが骨密度維持に効果的。重力の小さい宇宙ステーションでは骨のカルシウムが溶け出すという研究もある。</p>
委員	<p>宍粟市で取り組まれている「いきいき百歳体操」は、筋肉面でどの程度効果をもたらすのか?</p>
事務局	<p>この体操は筋力強化というより、今の身体機能を維持することが目的。筋肉量の測定はしていないかもしれない。</p>

発言者	議題・発言内容
委員	10年ほど続けているところもあるが、高齢化により維持が難しくなってきている地域もある。
委員	私が住んでいる地域では、継続して取り組んできた成果が出ていて、参加者の健康も維持・向上している。みんなで楽しみながら続けている姿に元気をもらっている。健康ポイント制度と結びつけて活用することも検討できるのではないか。
議長	福祉委員が自治会の役員会に組み込まれることがなかつたり、活動しにくい状況がある。民生委員との兼ね合いも課題。地域の方々とグループをつくり、ひとり暮らしの方などを支援する仕組みを進めている。 (8. その他) ほかにご意見はありますか。 ないようですので、以上で本日の議題はすべて終わりました。それでは、これをもちまして協議を終了させていただきます。 皆様ありがとうございました。 事務局に進行をお返しします。
副会長	(9. 閉会) 閉会あいさつ（略）
事務局	これをもちまして第50回宍粟市国民健康保険運営協議会を閉会とさせていただきます。本日は、誠にありがとうございました。